

みずはな

猛り狂う 荒波も はじめは小さな ひとしずく
火と交われば 温みゆき 強さが増せば 霧や雲
涸る一滴を 思わせば ぽたと一粒 流れゆく
芯から溢れ 出づるもの はじめの小さな ひとしずく

恭子